

UEFI BIOSでドライブがブートメニューに表示されない・認識しない場合

“UEFI BIOS”とは新しいBIOSの仕様。

以前の“レガシーBIOS”と比べると操作性の良さやセキュリティーの高さ、高速ブートなどの利点がある。

そんなUEFI BIOSが、接続したCD・DVD・HDDドライブがBIOS上から認識しない事がある。

正確には、**デバイスとして認識するものの、ブートディスク（起動ディスクのこと）として選択できない**というトラブル。

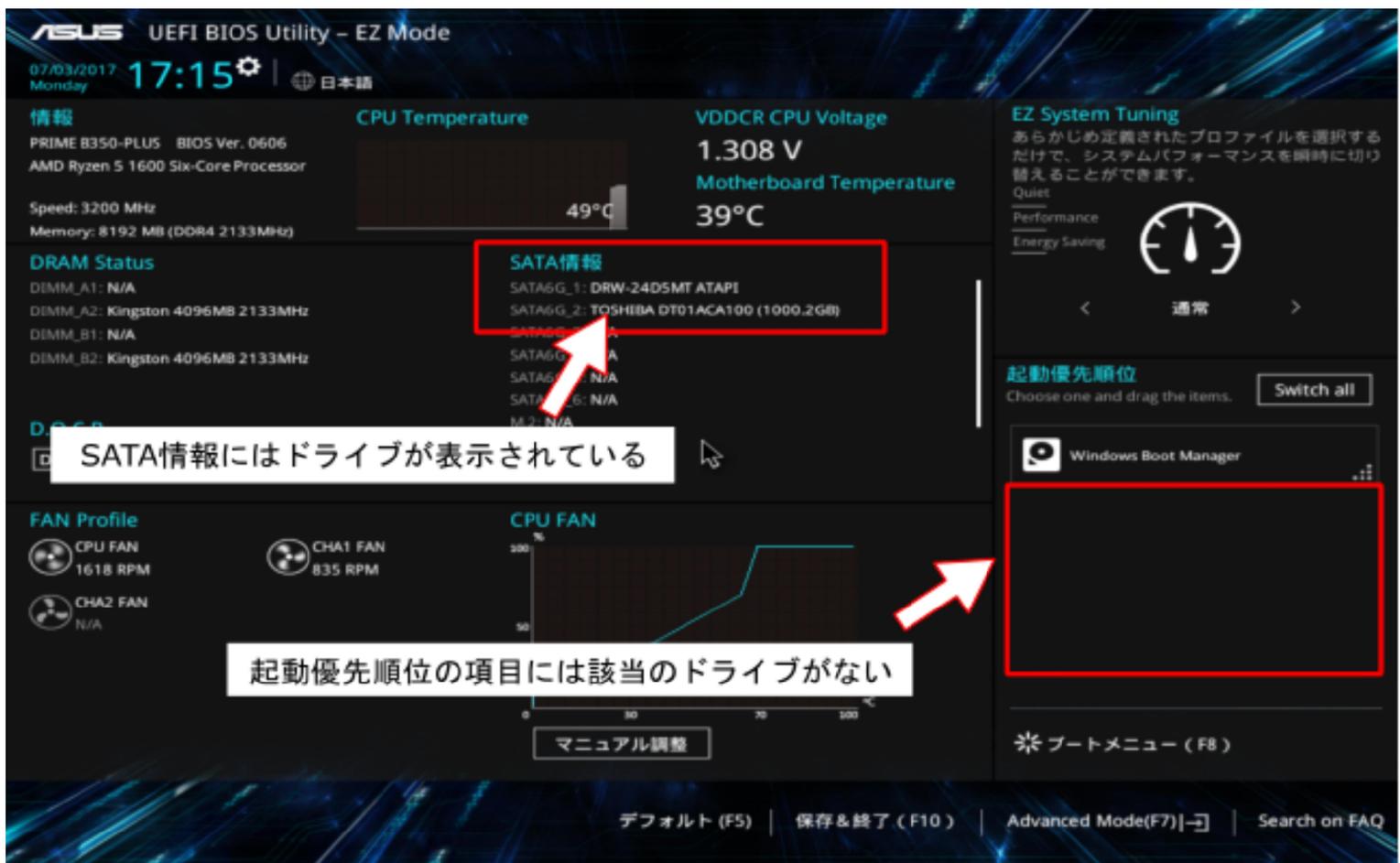


図1

原因はCSM設定

これは、BIOSのCSM設定に原因がある。

CSMの設定がOFFになっていたり、ONになっていても起動デバイス制御が“UEFIのみ”に設定されていると、CD・DVDドライブやHDDからブートできない。

CSMの役割：

そもそもCSMとは、新しいUEFI BIOSに対応していない古いOSや周辺機器をサポートするため、従来の“レガシーBIOS”をエミュレーションする役割で搭載されている。

※UEFI BIOS未対応のOSは、(Windows 7 32/64bit Windows 8 32bit) と、それ以前のOS

参考：http://faq3.dospara.co.jp/faq/show/2303?site_domain=default

よって、CD・DVDドライブやHDDを起動ドライブにするにはCSMをONに設定し。
さらに、CSMの起動デバイス制御をUEFI/レガシーOPROMに設定する必要がある。

CSMの設定

ここから、BIOSを呼び出してCMSを設定する方法を説明。

BIOSの呼び出し方法、BIOS画面のデザインはパソコンによって若干異なる。

1、パソコンからBIOS画面を呼び出す。

パソコンの電源を押したら、すぐに(F2)キーもしくは(DEL)キーを連打。

2、UEFI BIOSが起動。

UEFI BIOSは“EZ Mode”と“Advanced Mode”の2モードがある。

EZ Mode・・・簡易設定画面

Advanced Mode・・・詳細設定画面

CSMはAdvanced Modeにて設定するので(F7)キーを押してAdvanced Modeに変更。

※すでにAdvanced Modeになっている場合はこの操作は必要ない。



図2

Advanced Modeになっていることを確認

言語を日本語に変更する。(日本語が対応していない場合もある)



図3

3、CSMの設定

「起動」タブをマウスでクリック→「CSM」をクリック

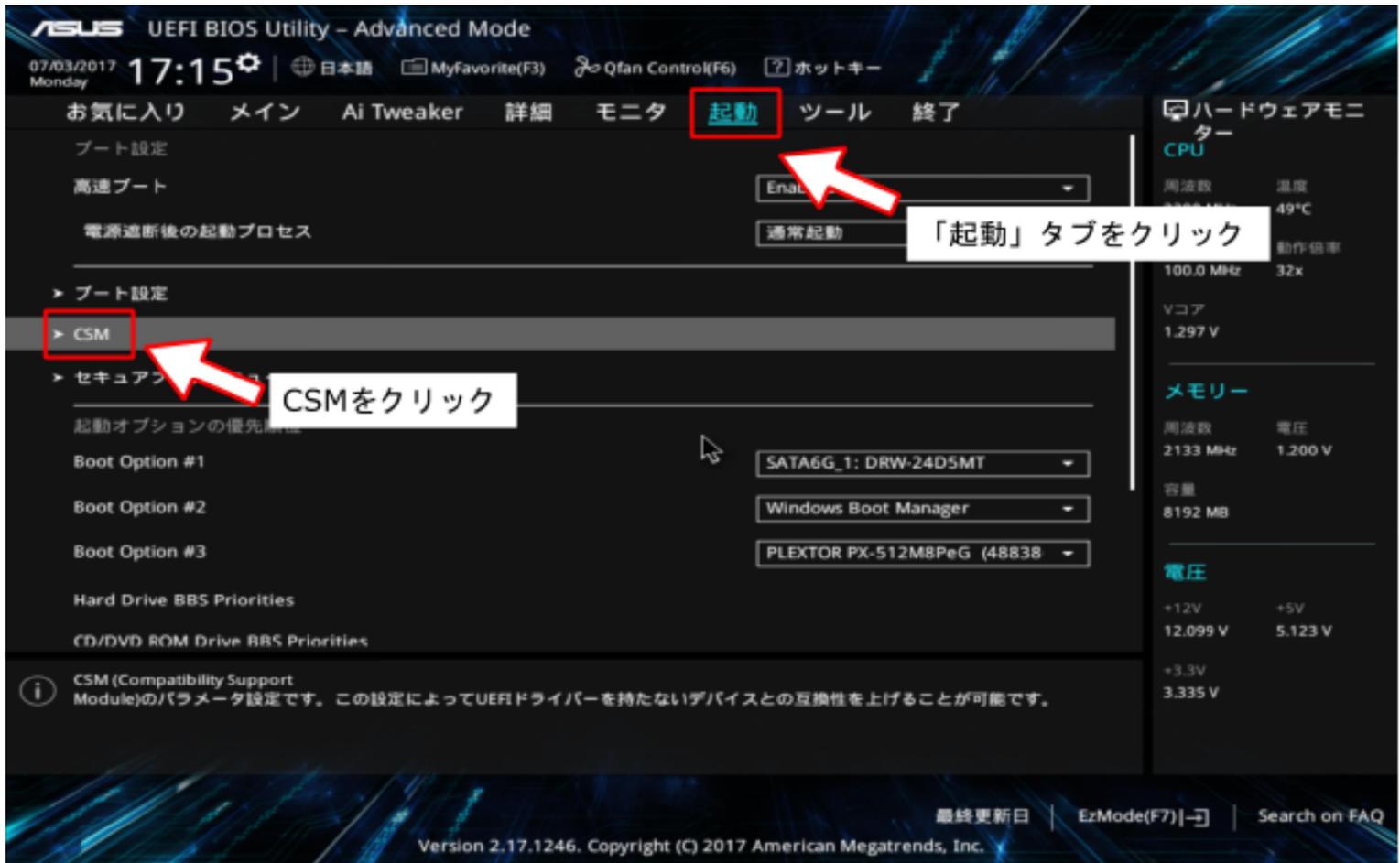


図4

「CSMの起動」を（有効）にする

「起動デバイス設定」を（UEFI/レガシーOPROM）にする。

以上で設定は完了。ただし、もう一つ重要な設定がある。

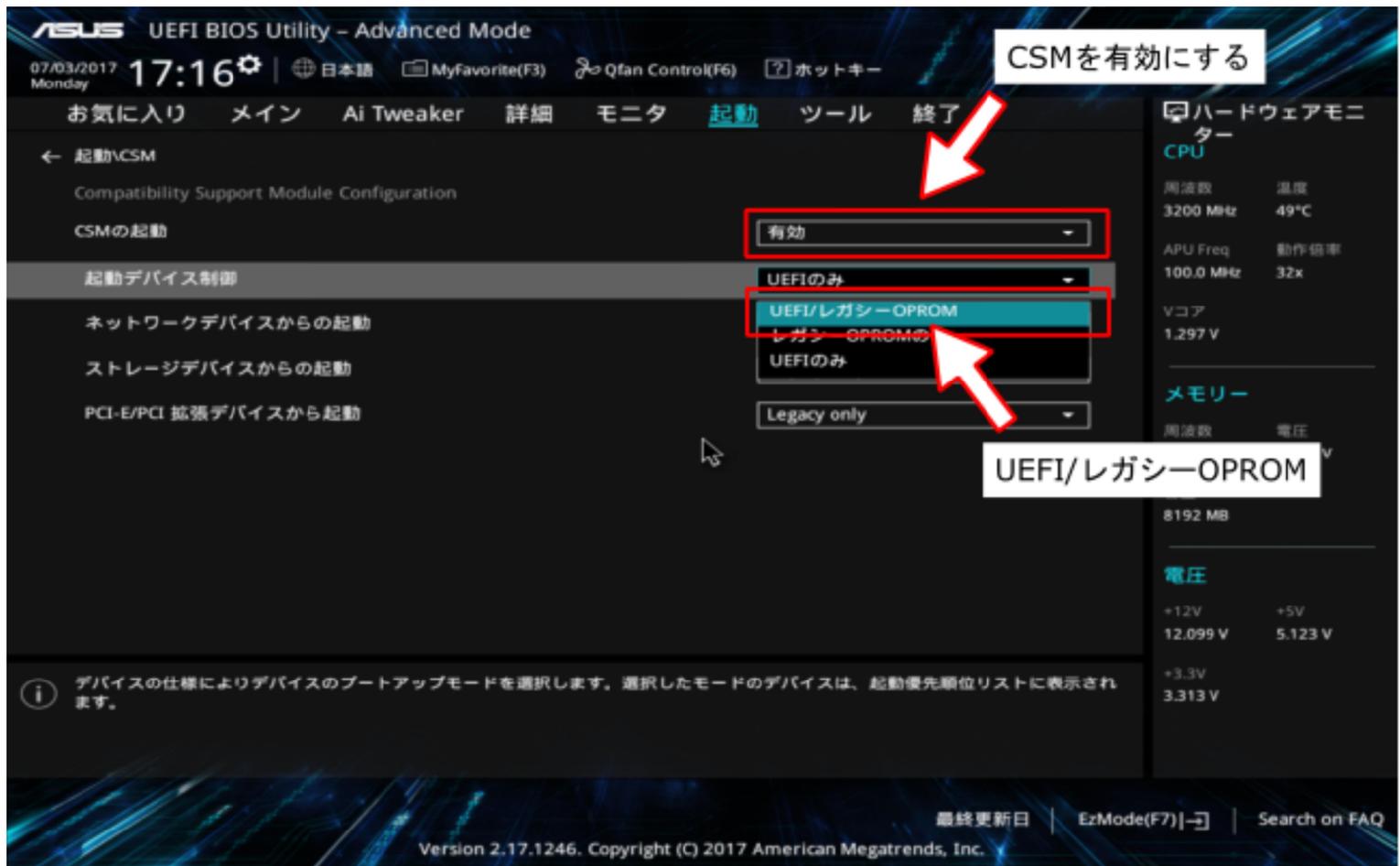


図5

4、セキュアブートの設定

セキュアブートメニューの設定を無効にする必要がある。

セキュアブートの役割：

起動時にデジタル署名のないソフトウェアを起動できなくする為の技術。

セキュリティーの点からセキュアブートを有効にしたいところですが、実はCSMが有効になっている場合、セキュアブートを無効にする必要がある。

※同時に有効にした場合、システムが不安定になり、場合によっては起動不能となるので結構重要な設定要素。

セキュアブートの無効

ひとつ前の画面に戻り、「セキュアブートメニュー」の項目をクリック。

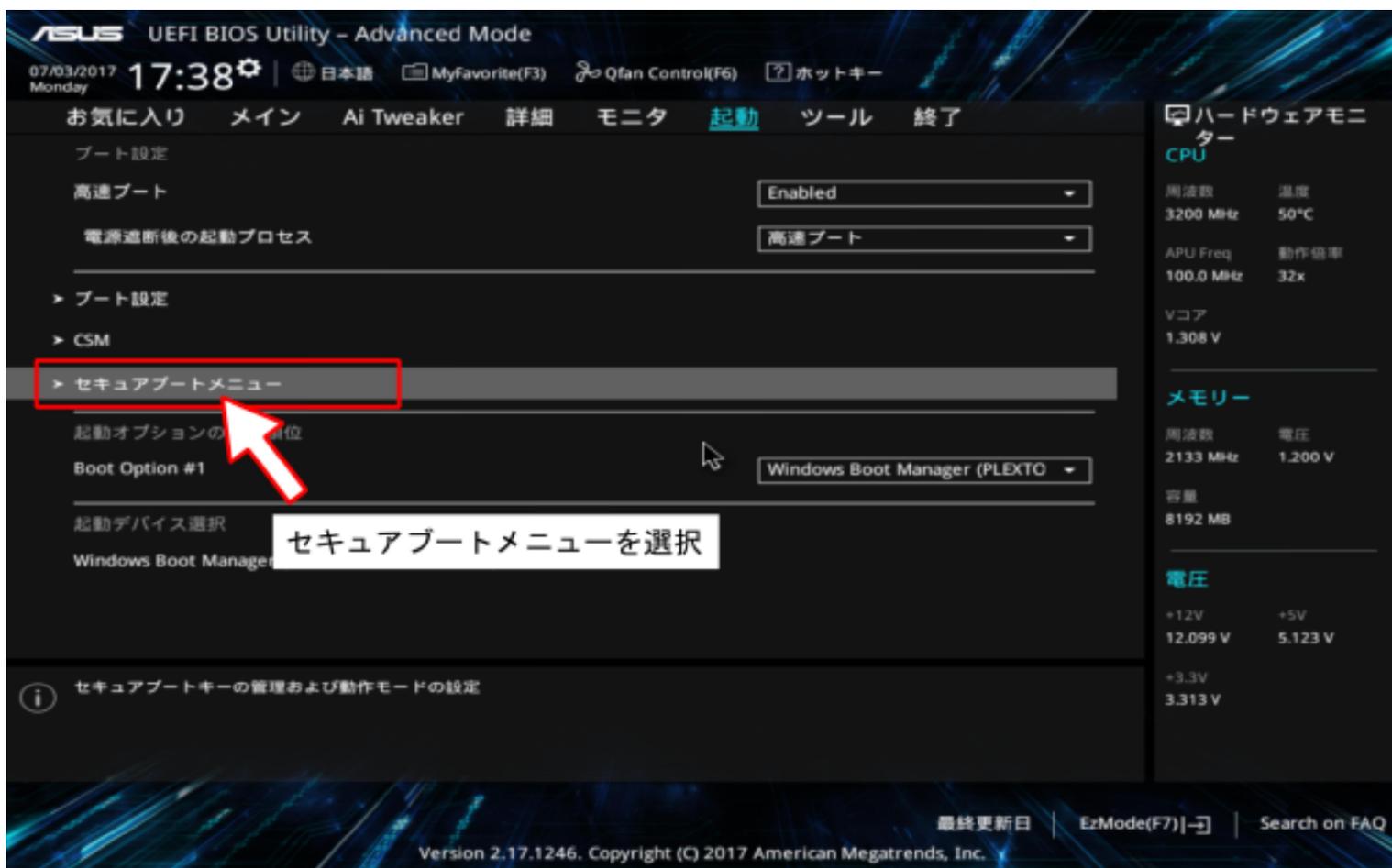


図6

「セキュアブートの状態」から、有効になっていることを確認し。
有効になっている場合、「セキュアブートキーの管理」をクリック

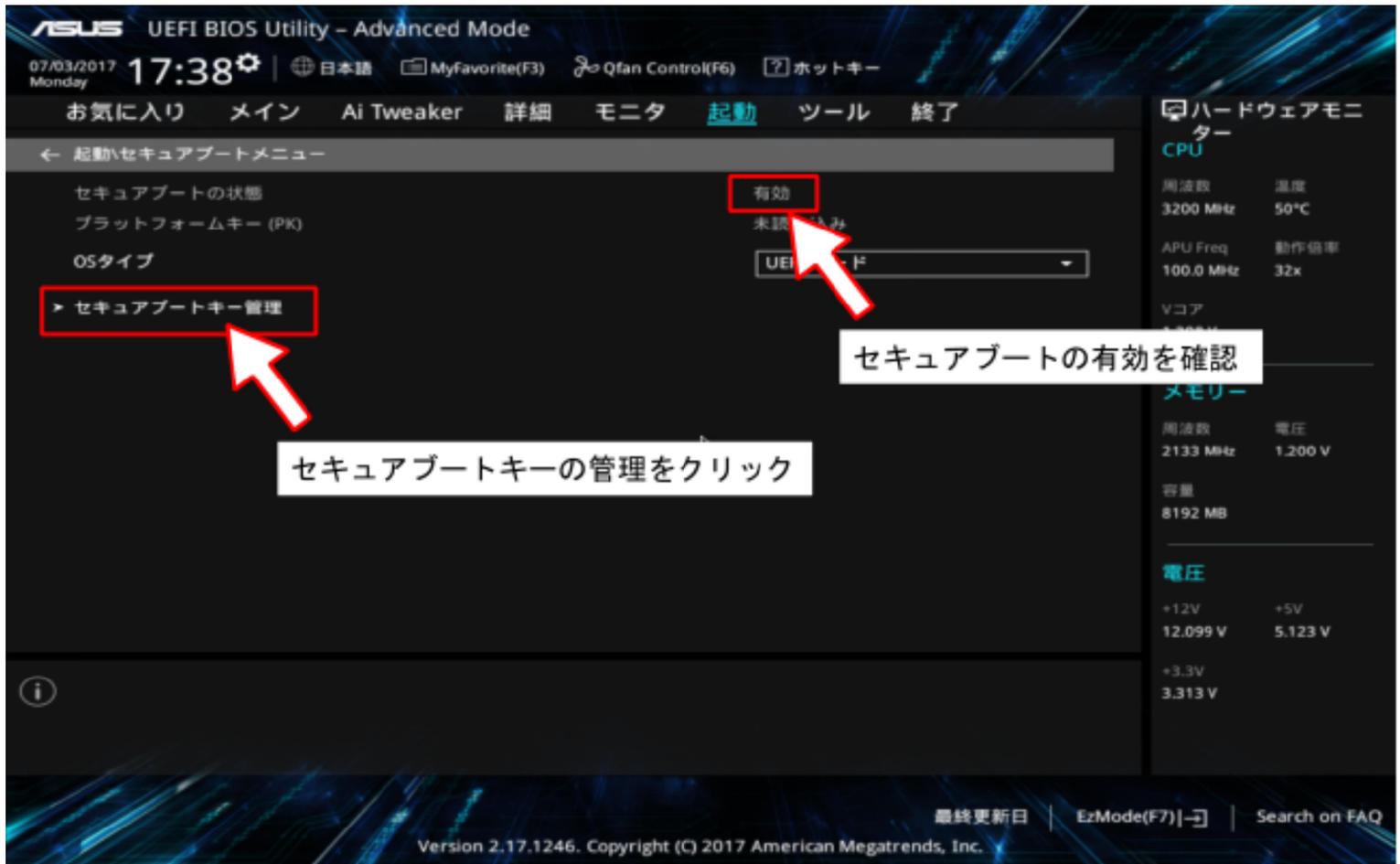


図7

「セキュアブートキーの削除」をクリックすることで無効になる。

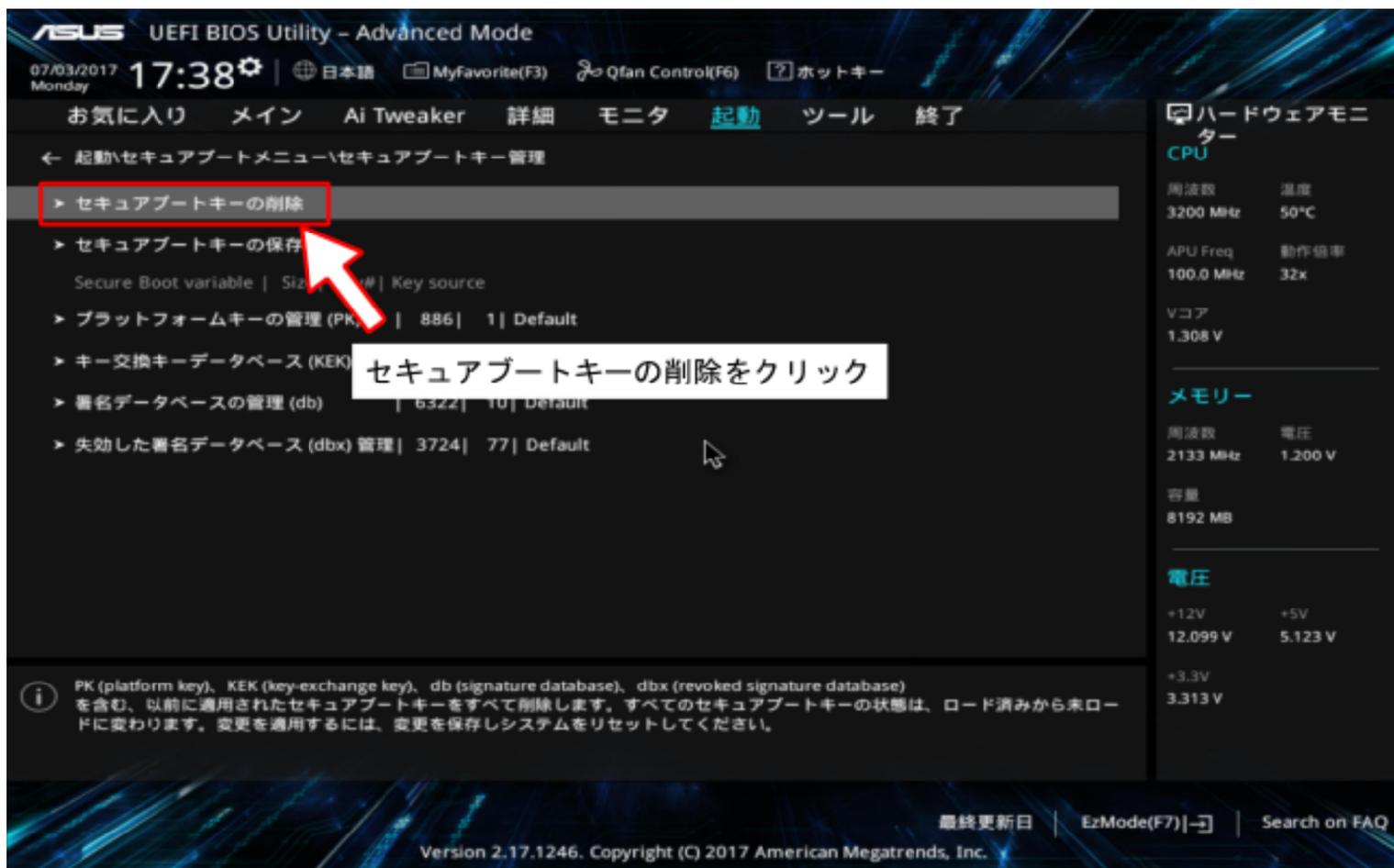


図8

ひとつ前の画面に戻り、「無効」になっているか確認してください。

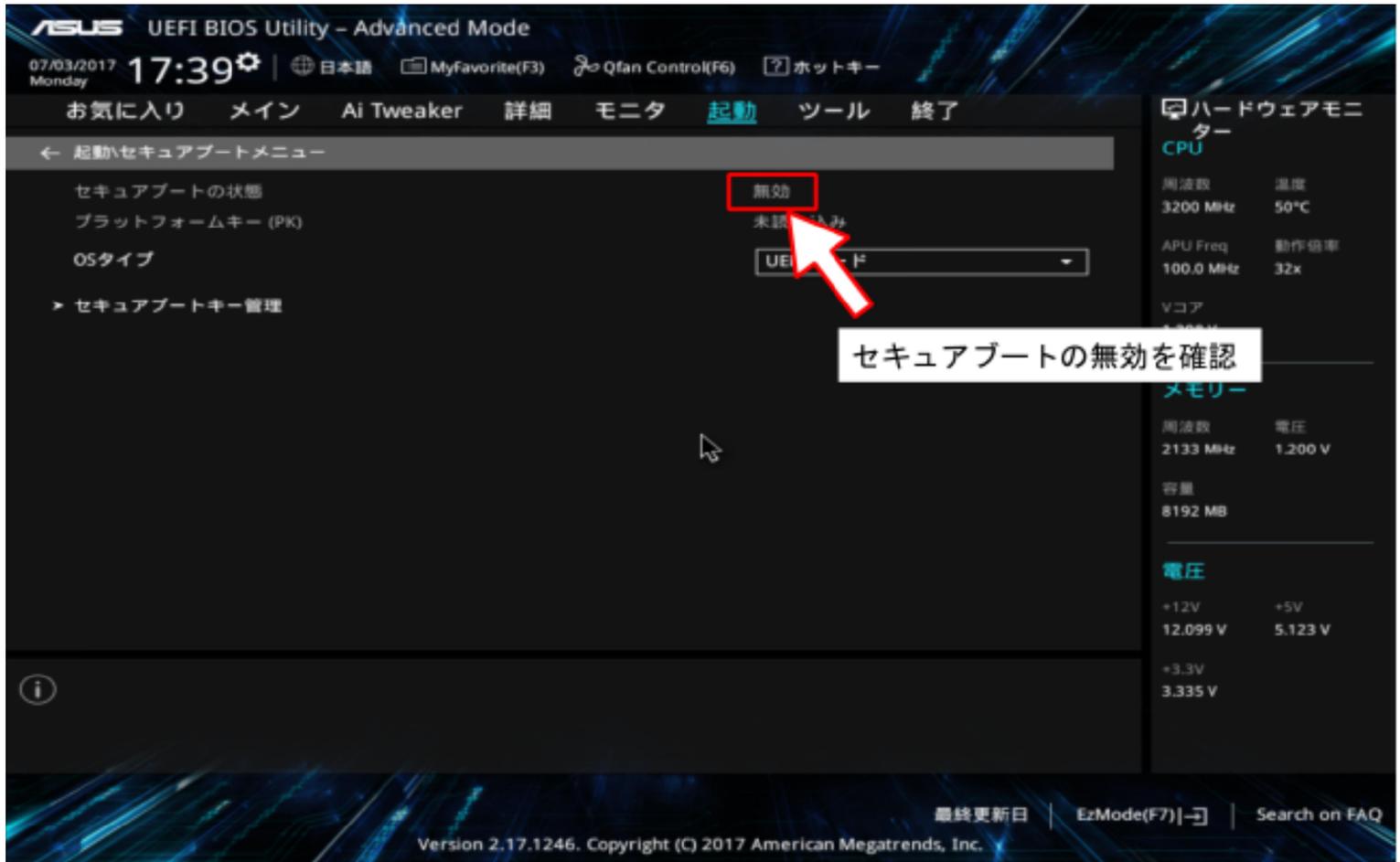


図9

最後に、「終了」タブ→「設定を保存して終了」をクリックしてBIOSの設定を保存して再起動する。
起動優先順位の中に、DVDドライブが表示されてるようになる。

